

令和7年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	えがおの駄菓子屋		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	駄菓子屋の魅力を通じた多世代が集まる居場所作り		
事業の目的	誰でも気軽に立ち寄れる「多世代交流」「地域共生」「相互扶助」の拠点となる地域の居場所作り		
事業概要	<p>少子高齢化が進む中でも、地域に楽しみを生み出し、全世代が安心して集い、自分らしく過ごせる地域社会を次世代に引き継ぐことを目的とし、誰もが気軽に立ち寄れる場として「駄菓子屋」を設け、駄菓子の購入だけでなく、宿題や遊び、ただ過ごすだけでも良い居場所を提供。</p> <p>高齢者にはフレイル予防や相談の場、子どもには安心と多様な価値観に触れる機会、母親には自由な時間の確保など、多面的に地域に貢献し安心できるつながりある地域を未来へつなぐことを目指す。</p> <p>以下の事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンタルスペースや市民の家を活用して地域の居場所を合計 68 回開催</li> <li>・ フードリボン事業により小学生以下の子どもたちに 69 食の無料食事提供</li> <li>・ 6 団体ワークショップ【工作、クレヨン販売、手もみ、親子交流会、子供服譲渡会、ダンス】開催</li> <li>・ 麻雀卓を準備し、高齢者の楽しみを創出</li> </ul>		
成果や課題	<p>放課後の居場所としての役割だけでなく、食事提供や麻雀卓の準備をすることで、共働き世帯の安心や高齢世帯の楽しみとして広く地域の方に利用してもらうことができた。延べ 1,600 人の方が利用してくれ、常連の子たちからは「大好き!」「もっとやってほしい!」という手紙をたくさんもらうことができた。</p> <p>課題としては、駄菓子の販売があると公共施設の利用に制限があることや、運営費の多くを自己負担や無償でまかなわなければならないことがあった。今後は、公共施設を含め、運営負担を軽減できる環境を検討したい。</p>		
今後の展望	<p>定期的な居場所を開催して居場所の価値（利用者数など）を可視化し、この活動に共感いただける方々から寄付金を募ったり、企業様の協賛をいただけるよう説明会を行いたい。また、自主財源として子ども対象の体験会の参加費、不登校児を含む子どもの見守りなど様々な展開をしていきたい。</p> <p>また、広報もチラシ配布や地域情報誌で周知を強化するなど、より参加しやすい環境を整えたい。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			